

ようこそ！ 馬渡小学校「理科コーナー」へ！

唐津地区 馬渡小学校 教諭 瀬戸 勝尚

1 「理科コーナー」とは？

(1) 目的

馬渡小学校の児童に、理科好きになって欲しいという思いから始めた。他の学校に比べ、理科に関わる施設に行きにくい（理科と関わりにくい／理科を意識しにくい）環境であるため、できるだけ多くの理科に関わるものに触れる機会を与えたいと考えた。

(2) 内容

指導要領の内容区分A・Bの全てに関わる物（おもちゃなど）や掲示物を置いたり、掲示したりしている。できるだけ児童に理科に興味・関心を持ってもらうため、置いている物は理科の原理を考えさせる物よりも、理科の原理を使った物が多くなるようにしている。また、「今月の特集」と題して、理科に関わる本を月毎にテーマを変えて並べている。




(3) 場所など

小学校の理科室前の廊下に机を置き、そこに物を置いている。また、掲示板もあるため、そこに掲示物も貼っている。



2 これまでの取り組みより

これまで置いてきた物の一部を紹介する。

<p>(1) じしゃくでおみくじ</p>  <p><材料> 鉛筆立て、磁石、針金、つまようじ、ストロー</p> <p><概要> つまようじの上部に針金を巻いた物の先に、5色の色を付ける。色によって、その日の運勢を占うというもの。一番人気のおもちゃ。</p> <p><単元との関連> 3年「磁石のふしぎを調べよう」</p>	<p>(2) まほうのペットボトル2</p>  <p><材料> 1. 500ペットボトル、醤油入れ、金フック、ビニールテープ、輪ゴム、ホッチキス</p> <p><概要> いわゆる“浮沈子”。それにちょっと工夫してみた。浮沈子の先にフックを付け、下に沈んでいる輪ゴム（ホッチキスの玉の重し付き）を引っ掛けさせる。一度にどれだけ取れるかを競わせた。</p>	<p>(3) おもしろふりこ</p>  <p><材料> 長さの異なる紐、ナット、棒、接着剤</p> <p><概要> 振り子の長さによって固有振動数が異なることを利用したおもちゃ。自分の思った振り子だけを動かすために、子ども達は何度も挑戦していた。</p> <p><教科との関連> 5年「ふりこの動き」</p>
---	--	---

3 成果と課題

(1) 成果

- ・理科好きが増えた。（1・2年生も、3年生になって理科を学ぶのを心待ちにしている。）
- ・身の回りにある事柄を、理科と結び付けて考える子が増えた。（「先生、アメンボってさなぎになるんですか？」など）
- ・参観日に見たり触れたりして頂くことで、保護者さんや地域の方の関心も高まった。

(2) 課題

- ・欲しいものが手に入りにくい。大きいものを持って来にくい。